

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 8 月 25 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp



【ネパール・カトマンズ市にて建築現場の視察様子】

## 横浜市と市内企業 8 社が、ベトナム・ダナンにおける家庭ごみの分別促進に向けた現地調査を行いました

本市は、IGES（公益財団法人地球環境戦略研究機関）と協力し、JICA 草の根技術協力事業を通じてダナン市の家庭ゴミ分別促進に向けたモデル事業に取り組んでいます。



左) 最終処分場

右) 廃プラスチックのペレット化工場

7月の最終週に、資源循環局と国際局の職員がダナン市を訪問し、分別促進モデル事業のアクションプラン策定や新たなリサイクルルートの確立に向けた協議を行いました。

また、今回の派遣には、横浜市内で廃棄物の収集運搬や中間処理等の事業を行っている市内企業 8 社が参加し、合同で現地調査を行いました。さらに、現地行政機関や民間セクターに向けて各社が持つリサイクル技術を PR しました。

## ネパール地震復興支援第 4 次派遣を行いました

平成 27 年 4 月にネパールで発生した地震によって、シティネット会員都市であるカトマンズ市では公共建築物、歴史的建築物など多くの建築物が被害を受けました。

横浜市では、カトマンズ市との間で震災復興支援のための覚書を締結し、建築物等に関する技術職員の育成を支援しています。

本年 7 月 24 日～28 日に、通算 4 回目となる建築局の技術職員等の現地派遣を行い、建築確認の体制や手順についてのヒアリング調査や建築現場の視察、自治体職員向けの技術研修などを行いました。技術研修には、カトマンズ市だけでなく、世界銀行の呼びかけでネパール国内の他の自治体からも受講希望があり、合計約 40 名の技術職員が参加しました。

建築物の品質管理等をテーマに、基本的な知見に関する講義や、RC造住宅の建築現場でのアドバイスを行い、これらの結果に基づいて、災害に強い建築物をつくるための課題・改善点についてワークショップを行いました。

## アフリカの政財界からの視察団が横浜市を視察しました

JETRO（日本貿易振興機構）主催の「日本-アフリカビジネスフォーラム・インダストリアルツアー」の視察団が、7月27日に横浜市環境創造局北部第二水再生センターと資源循環局金沢工場・金沢資源選別センターを訪問しました。



この視察は日本政府が推進する「質の高いインフラシステムの輸出」を促進するため、JETROから本市に依頼されたものです。視察団として今回来られたのは、アフリカ開発銀行主催の「第 2 回日本-アフリカビジネスフォーラム」に参加されたアフリカの政財界の方々です。横浜市の下水道処理技術や水再生センターの概要、廃棄物管理技術の紹介のほか、横浜とアフリカとの様々つながりについても説明しました。

